

米国における特別目的政府による 公共図書館経営の理論的基盤

鈴木一生(筑波大学大学院)

小泉公乃(筑波大学)

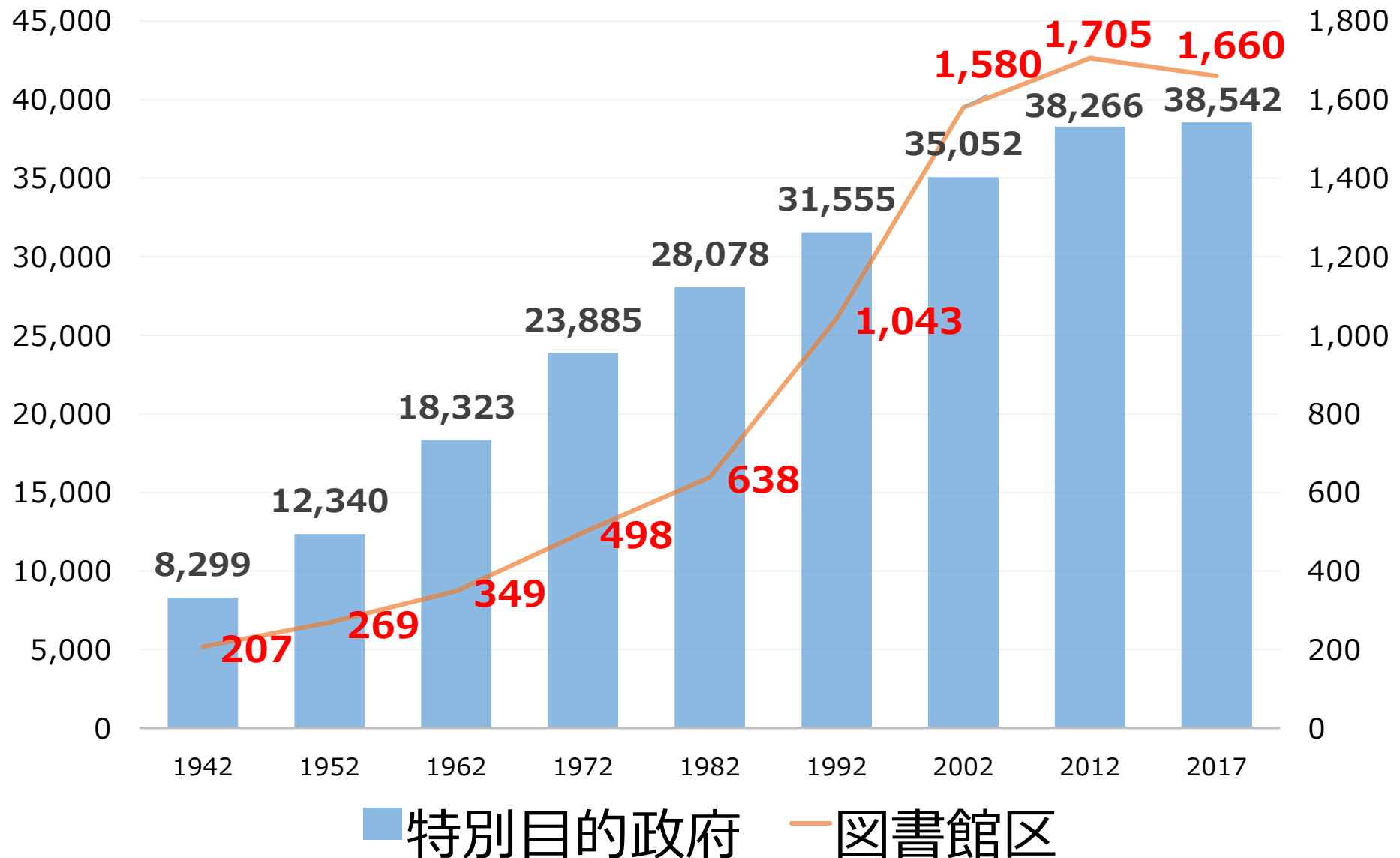
日本図書館情報学会 第68回研究大会

2020年10月3日(土) オンライン

1.研究の背景と目的



1.1 特別目的政府と図書館区の数推移(全米)



出所 Census of Governments. *Statistical Abstract of the United States.*

1.2 特別目的政府に対する指摘

Bourdeaux, 2005

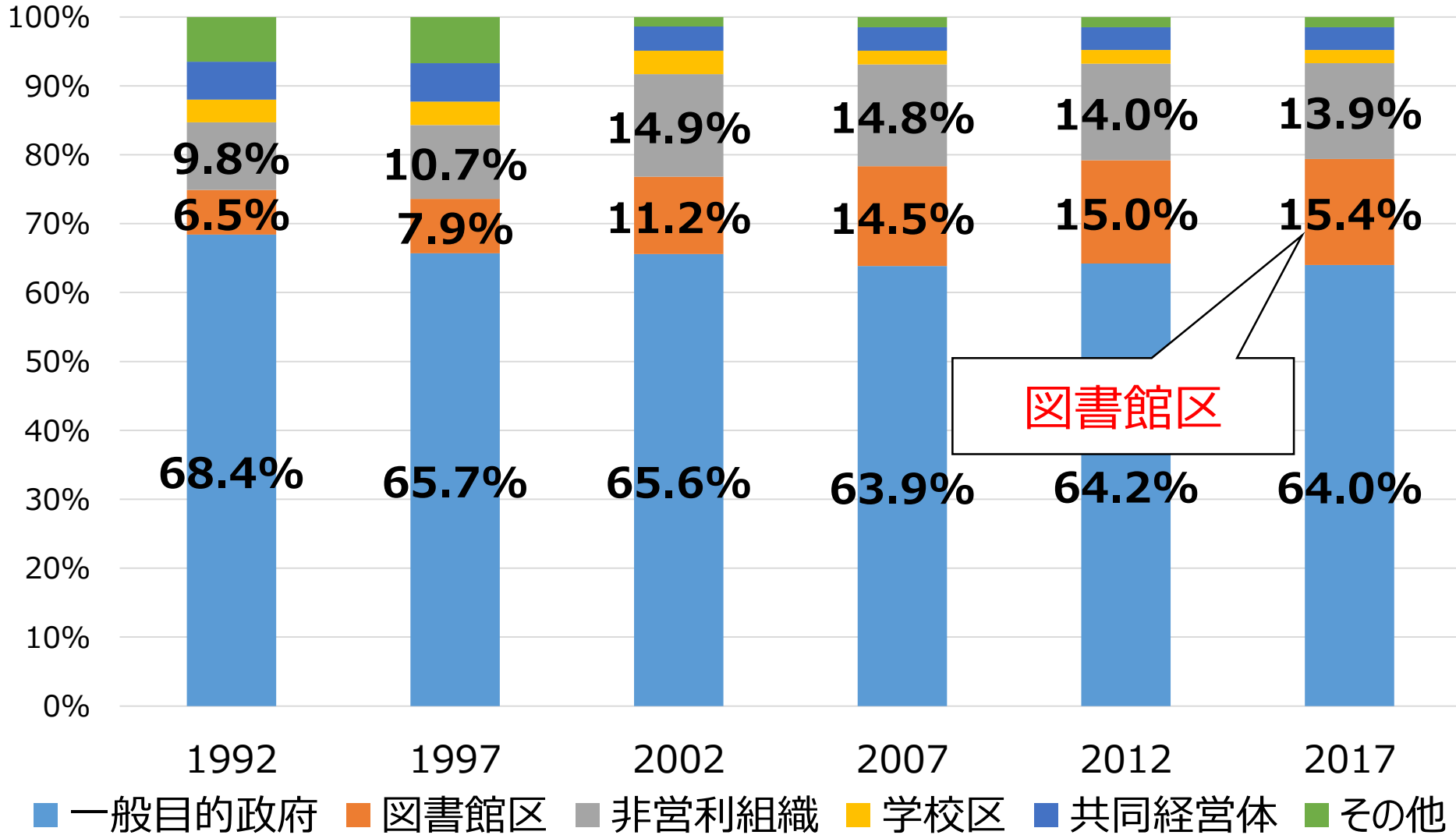
米国では、歴史的に州政府や一般目的政府が抱える政策的課題を解決するために、特別目的政府がそれらに代わって、公共サービスを提供してきたことを指摘

Mullin, 2009

特別目的政府の増加による米国地方統治構造の断片化を指摘すると共に、特別目的政府が米国地方自治において重要な役割を担っていることを述べる

現在、米国では、地方行政における特別目的政府の役割や意義が議論されている

1.3 公共図書館の経営モデルの推移(全米)



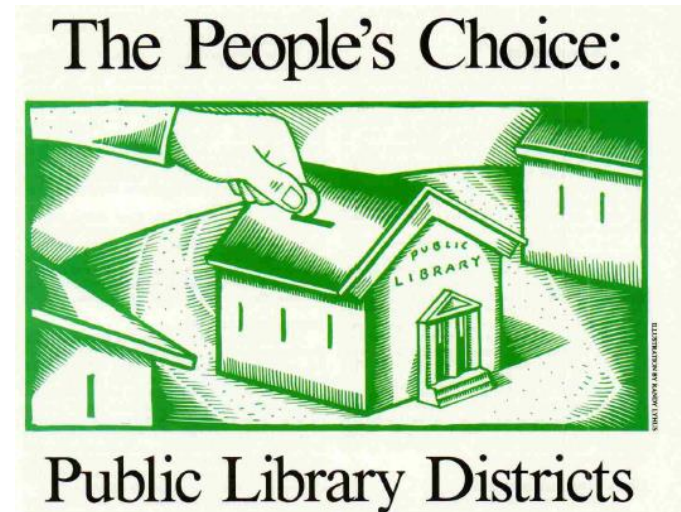
出所 (1)National Center for Education Statistics. *Public Libraries in the United States 1992,1997,2002*, Percentage Distribution of Public Libraries, by Type of Legal Basis and State. (2)Institute of Museum and Library Services. *Supplementary Tables Public Libraries Survey Fiscal Year 2007,2012,2017*, Percentage Distribution of Public Libraries, by Type of Legal Basis and State.

1.4図書館区(Library Districts)とは

課税権や起債権を持ち、独立した委員会が
経営の意思決定を行う特別目的政府
(Special-Purpose Governments)の一形態

※特別目的政府は、特別区(Special Districts)とも呼称される

政府経営と公共図書館経営
が一体となった経営モデル

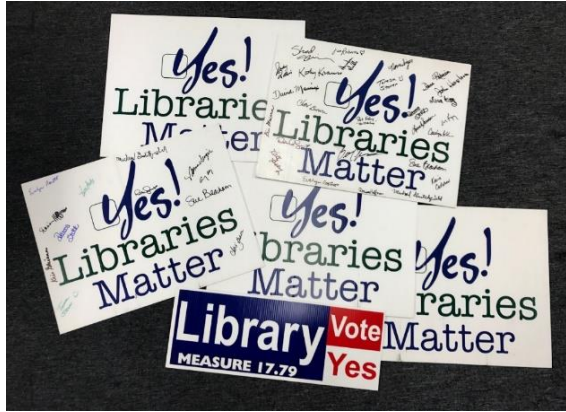


Brawner, Lee B. "The People's
Choice: Public Library Districts,"
Library Journal. Vol.118, No.1,
1993, p.59-62.

1.5 図書館区の設立方法

図書館区は、住民投票を通して設立される

キャンペーン活動の一例： 住民に賛成票を投じることを促すボード



Josephine Community Libraries. "Library district next steps," <https://josephinelibrary.org/2017/06/14/dirmsg-guestopinion-17j/un14>, (accessed 2018-01-20)

各世帯へのポストカードの送付



SAVE OUR LIBRARY PAC
1767 12TH STREET 2280
HOOD RIVER, OR 97031
www.saveourlibrary.net

POST CARD
OFFICIAL
PAID
RANK

Hood River County Library. Library Mailer Back (Post Card). 2010.
(2017年9月27日フッドリバーカウンティ図書館区館長からの提供資料).

ポストカードでの主張

**IT'S IN YOUR HANDS.
IT'S UP TO YOU
TO OPEN THE LIBRARY.**

Without voter approval of a library district the library will NOT reopen.

Libraries transform lives. They provide access to information for all citizens to solve real problems, to explore new fields of knowledge, and to teach our children the joy of lifelong learning.

- relies on one of the lowest tax rates in Oregon;
- increases use of volunteers, donations, grants and user fees;
- provides a base of stable funding.

The Hood River County Library belongs to you
Let's unlock its doors
and share its resources.

**Vote Yes to Open the Hood River,
Cascade Locks, and Parkdale Libraries**

VOTE YES! **Measure 14-39**

1.6 図書館区の財源の安定性に関する実証研究

Elliott(2013)

方法 2001年から2010年までのニューヨーク州における図書館区、非営利組織、一般目的政府によって経営される公共図書館の収入額の推移の調査

結果 図書館区が他の経営モデルである一般目的政府や非営利組織によって経営される公共図書館と比較すると収入額の変動が少なく安定的であることを実証

Goldman(2018)

方法 2009年から2014年までのオレゴン州、コロラド州、ミシガン州における図書館区と一般目的政府によって経営される公共図書館の収入額の推移の調査

結果 図書館区の収入が一般目的政府によって経営される公共図書館に比べて長期的に安定していたことを実証

近年、図書館区の財源の安定性が実証されている

1.7 州立図書館行政機関の図書館区に対する評価

図書館区設立を目指す要因(New York State Library)

- ①財源の改善
- ②サービスの改善
- ③予測可能な財源
- ④自律性の向上
- ⑤説明責任
- ⑥財源調達の簡略化
- ⑦非サービス対象人口の削減
- ⑧起債権
- ⑨ニューヨーク州理事会の方針
- ⑩図書館区への移行を経験した
公共図書館の増加
(利点等の豊富な情報源)

近年実証されている「財源の安定性」は、
図書館区経営の一つの特徴に過ぎない

1.8 本研究の目的

- (1) 包括的な文献レビューを通して、図書館区の持つ要素を体系的に整理・分析し、図書館区経営の理論的基盤の全体像を解明する。
- (2) 分析結果を基礎に今後の図書館区研究における課題を示す。

1.9 本研究の意義

- (1) 本研究を通して、「**図書館区という経営モデルの特徴**」を明らかにすることに加えて、これまで見落とされてきた「**一般目的政府や非営利組織に経営される公共図書館の特徴**」も示すことができる。
- (2) 近年、政府部門の財政悪化に対応した経営モデルとして注目されている図書館区の経営理論を明確化することは、**同様の課題を抱える日本の公共図書館経営の在り方を考察する上でも重要な示唆を与えることができる。**

図書館区経営の理論的基盤の全体像を解明することは、
図書館経営の理論研究の発展に寄与する

1.10 研究プロジェクト全体での本研究の位置づけ

研究プロジェクト全体の目的

図書館区の設立経緯と経営の実態を明らかにする

目的	課題	方法
<p>第1部・図書館区経営の理念: これまでの学術上における図書館区に関する理論を包括的に明らかにする。</p> <p>本研究</p>	<p>図書館区研究の中では、これまでどのようなことが論じられてきたのか。</p>	<p>包括的な文献レビュー</p>
<p>第2部・図書館区設立の認可と政策形成過程: 第1の目的で明らかになった学術上の論点を軸に、州政府による図書館区設立の認可までの政策形成過程を明らかにする。</p>	<p>図書館区は、どのような制度的・理論的枠組みに基づき州政府によって設立が認可されたのか。</p>	<p>州政府及び州立図書館所蔵の政策文書を対象とした文献調査</p>
<p>第3部・図書館区の実態: 第2の目的で明らかになった政策形成過程で目指された図書館区の在り方について、実際の図書館区の設立経緯と経営メカニズムを分析し、その実態を明らかにする。</p>	<p>制度的・理論的枠組みにおける図書館区の在り方が、実態としてはどのように反映されているのか。</p>	<p>組織内部の意思決定過程が分かる内部資料を含む広範な文献調査、半構造化インタビュー、メールを介したインタビュー</p>

2. 研究方法 (包括的文献 レビュー)



2.1 文献の選択基準

分析対象

制度を基礎として経営について理論的に言及した文献

分析対象外

図書館区制度の概説（時事的な事例報告や法令の紹介等）

分析対象期間

1991年から2019年

Schepke(1991)が米国における公共図書館経営の新たな傾向として「図書館区への再編成及び統合」を述べたことを起点

2.2 文献の入手手順

- (1) 学術文献データベースを利用し、図書館区について記述された論文、インタビュー記事やレター記事を入手(15件)
※なお、筑波大学提供のデータベースで全文が入手できないものは、議会図書館(ワシントンD.C.)への訪問時に全文をコピーした。
- (2) 収集した資料の引用及び参考文献を確認し、図書館区に関連性の高い文献、州立図書館や州の図書館協会から発行されている研究レポートを芋づる式に入手(4件)
- (3) 図書館情報学における専門図書館である筑波大学図書館情報学図書館でブラウジングし、図書館区について論じている文献を入手(2件)

調査対象文献は、合計21件

調査対象文献一覧

	著者	発行年	文献の種類	タイトル	対象州
1	Eisner	1991	論文	Why Public Library Districts?	ニューヨーク州
2	Crismond	1993	学術書(共著)	Financial Structure and Funding Sources. In <i>Against All Odds: Case Studies on Library Financial Management</i>	一般
3	Madden	1993	学術書(共著)	Independent Library District, In Robbins, Jane B & Zweizig, Douglas L. <i>Balancing the Books: Financing American Public Library Service</i>	イリノイ州
4	Brawner	1993	論文	The People's Choice: Public Library Districts	一般
5	Ruhnke	1994	論文	What is a Public Library District?	イリノイ州
6	Rackers	1998	記事	Responsibilities of Public Library District Trustees	ミズーリ州
7	Fox	2000	記事	Public Library Districts: And Now We Are Nine	テキサス州
8	Berry	2002	レター記事	More Successful Than Begging	一般
9	Hennen	2002	論文	Are Wider Library Units Wiser?	一般
10	Brawner	2002	レター記事	For Library Districts	一般
11	Andersen	2003	論文	Selling a Public Good: The Case of Rechartering Public Libraries by Referendum in New York State	ニューヨーク州
12	Lietzau	2003	機関レポート	Fast Facts: Colorado Library Districts Thrive While Other Public Library Types Face Big Cuts	コロラド州
13	Waters	2003	インタビュー記事	An Interview with Lee B. Brawner	オクラホマ州
14	O'Connor	2004	論文	Public Library Districts and Texas – A Case Study	テキサス州
15	Thompson	2005	機関レポート	Public Library Districts: An Alternative for Wisconsin?	ウィスコンシン州
16	French	2008	機関レポート	Fast Facts: Colorado Library Districts Show Greater Increase in Use and Financial Support Than Other Public Library Types	コロラド州
17	Berry	2009	学術書(単著)	Specialization and Quality. In <i>Imperfect union: Representation and Taxation in Multilevel Governments</i>	一般
18	Harris et al.	2010	インタビュー記事	Library Districts: The Good, The Bad, The Beautiful, and The Ugly	イリノイ州
19	Elliott	2013	論文	Impact of the Public Library District Model on Local Funding of Public Libraries in New York State	ニューヨーク州
20	Ebdon et al.	2018	論文	Institutional Arrangements for Public Library Funding and Spending	一般
21	Goldman	2018	論文	Strategies for Sustainable Funding: A Metadata Review of the Independent Library District Model	オレゴン州、コロラド州、ミシガン州

2.3 分析の手順

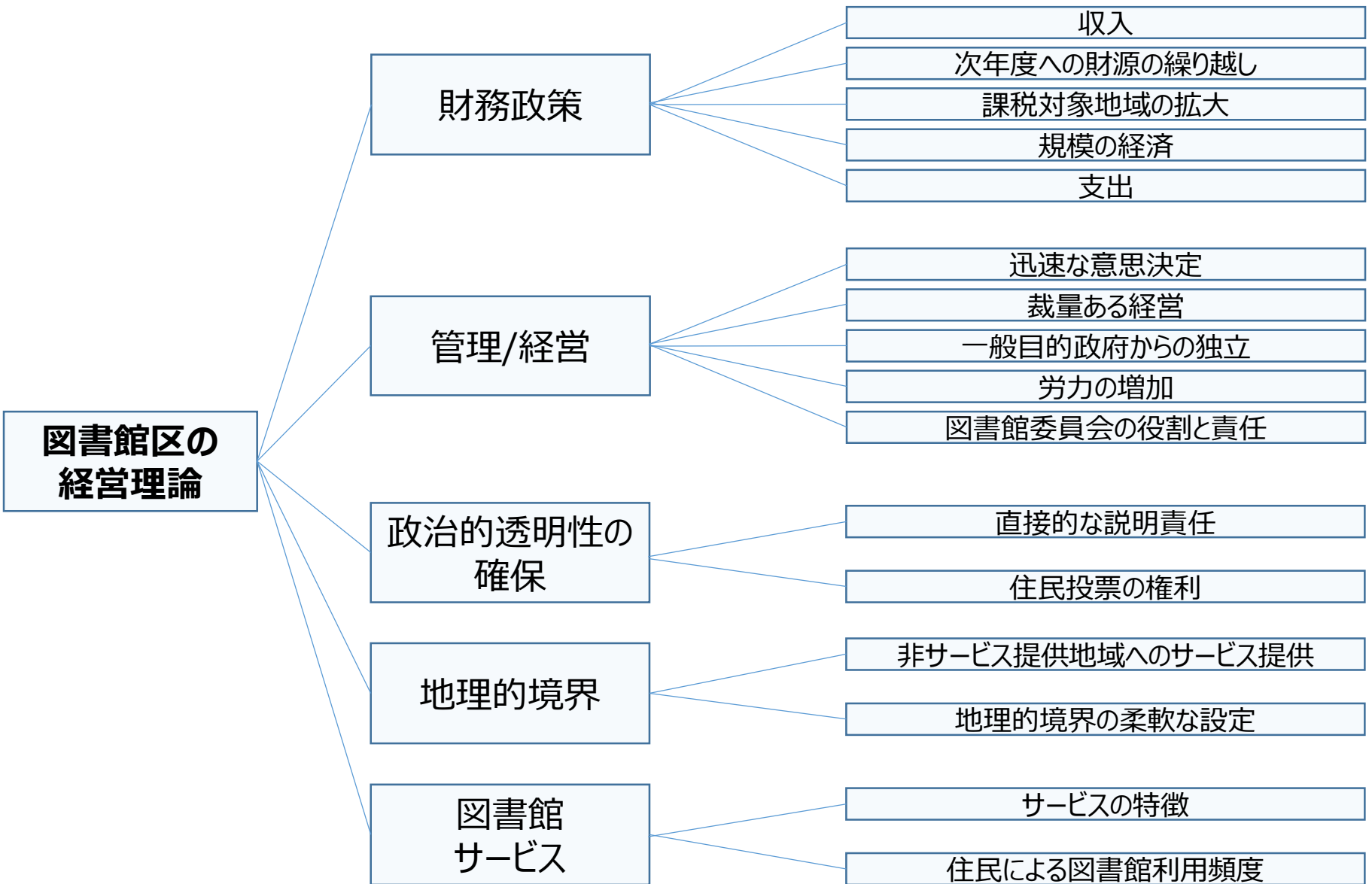
(1) 文献を精読し、図書館区経営の理論を構成すると考えられる要素を抽出

(2) 概念の大きさに基づき、第二著者との議論を通して要素を分類・整理

3. 研究結果



図書館区経営の理論を構成する要素



図書館区の要素とその分類

要素(小分類)	財務政策					管理/経営					政治的透明性の確保		地理的境界		図書館サービス	
	収入	次年度への財源の繰り越し	課税対象地域の拡大	規模の経済	支出	迅速な意思決定	裁量ある経営	一般目的政府からの独立	労力の増加	図書館委員会の役割と責任	直接的な説明責任	住民投票の権利	非サービス提供地域へのサービス提供	地理的境界の柔軟な設定	サービスの特徴	住民による図書館利用頻度
Eisner(1991)	✓		✓										✓			
Crismond(1993)	✓	✓		☑			✓	✓☑	☑			✓			✓	
Madden(1993)	✓		✓		☑	✓	✓	✓☑	☑		✓		✓			
Brawner(1993)	✓							✓☑								
Ruhnke(1994)	✓		✓		☑		✓		☑	✓☑			✓			
Rackers(1998)										✓						
Fox(2000)	✓								☑	✓						
Berry(2002)	✓															
Hennen(2002)				✓	☑											
Brawner(2002)	✓	✓							☑						✓	
Andersen(2003)											✓					
Lietzau(2003)	✓				☑		✓								✓	
Waters(2003)	✓									✓					✓	
O'Connor(2004)	✓							✓☑		✓	✓			✓		
Thompson(2005)	✓									✓				✓		
French(2008)	✓														✓	✓
Berry(2009)	✓				☑								✓		☑	
Harris et al.(2010)	✓				☑		✓		☑			✓	✓			
Elliott(2013)	✓															
Ebdon et al.(2018)	✓				☑											
Goldman(2018)	✓															

一般的な説明または肯定的な見解	✓
懸念または否定的な見解	☑

- ・「規模の経済」や「一般目的政府から独立」などの要素は肯定と否定の両面から論じられる
- ・図書館区は主に一般目的政府によって経営される公共図書館と対比され論じられる

3.1 財務政策

要素(大分類)	財務政策				
	収入	次年度への 財源の繰り 越し	課税対象 地域の 拡大	規模の 経済	支出
Eisner(1991)	✓		✓		
Crismond(1993)	✓	✓		☑	
Madden(1993)	✓		✓		☑
Brawner(1993)	✓				
Ruhnke(1994)	✓		✓		☑
Rackers(1998)					
Fox(2000)	✓				
Berry(2002)	✓				
Hennen(2002)				✓	☑
Brawner(2002)	✓	✓			
Andersen(2003)					
Lietzau(2003)	✓				☑
Waters(2003)	✓				
O'Connor(2004)	✓				
Thompson(2005)	✓				
French(2008)	✓				
Berry(2009)	✓				☑
Harris et al.(2010)	✓				☑
Elliott(2013)	✓				
Ebdon et al.(2018)	✓				☑
Goldman(2018)	✓				

財源の安定性については評価されるものの、支出額が大きくなることが懸念される

一般的な説明または肯定的な見解	✓
懸念または否定的な見解	☑

3.1.1 収入

肯定的な見解

財務政策上の独立性を有することは、一貫して評価されていた

図書館区は、図書館区ではない公共図書館と比較し、より長期的に安定した財源を確保していることが実証されていた

(Lietzau, 2003; Elliott, 2013; Goldman, 2018)

⇒財源が安定することの利点として長期的な計画の策定が可能

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.1.2 次年度への財源の繰り越し

肯定的な見解

図書館区は、自らの予算を年度内に全て支出する必要は無く、次年度へと財源を繰り越せること
(Crismond, 1993; Brawner, 2002)

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.1.3 課税対象地域の拡大

肯定的な見解

図書館区は、一般目的政府の境界に捉われずに住民投票を通して図書館区域を拡大させること可能
(Eisner, 1991; Madden, 1993; Ruhnke, 1994)

⇒サービスが行き届いていない地域を抱合することに加えて、より大きな課税基盤を獲得できる

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.1.4 規模の経済

肯定的な見解

小さな市町村の図書館と比べ、図書館区の方が奉仕人口等の観点から単位が大きいことから、規模の経済を活かした経営が実施できる
(Hennen, 2002)

否定的な見解

図書館区が一般目的政府から独立することで小規模組織となり、経営上、規模の大きい政府組織では実現できている規模の経済という利点が失われる懸念がある
(Crismond, 1993)

3.1.5 支出

肯定的な見解

肯定的な見解は見られなかった

否定的な見解

一般目的政府の公共図書館に比べて、支出額が大きくなる

(Madden, 1993; Ruhnke, 1994; Hennen, 2002; Lietzau, 2003; Berry, 2009; Harris et al., 2010; Ebdon et al., 2018)

⇒一般目的政府の公共図書館であれば自ら用意する必要の無いサービスの多くを**独立した地方政府である図書館区は自ら用意する必要があるため**

3.2 管理/経営

要素(大分類)	管理/経営				
	迅速な意思決定	裁量ある経営	一般目的政府からの独立	労力の増加	図書館委員会の役割と責任
Eisner(1991)					
Crismond(1993)		✓	✓☑	☑	
Madden(1993)	✓	✓	✓☑	☑	
Brawner(1993)			✓☑		
Ruhnke(1994)		✓		☑	✓☑
Rackers(1998)					✓
Fox(2000)				☑	✓
Berry(2002)					
Hennen(2002)					
Brawner(2002)				☑	
Andersen(2003)					
Lietzau(2003)		✓			
Waters(2003)					✓
O'Connor(2004)			✓☑		✓
Thompson(2005)					✓
French(2008)					
Berry(2009)					
Harris et al.(2010)			✓	☑	
Elliott(2013)					
Ebdon et al.(2018)					
Goldman(2018)					

意思決定の独立性を有することが評価される。同時に図書館区は、独立した地方政府として経営されるため労力が増加することが懸念される。

一般的な説明または肯定的な見解	✓
懸念または否定的な見解	☑

3.2.1 迅速な意思決定

肯定的な見解

図書館区は、一般目的政府の判断を待つことなく、迅速に意思決定ができる (Madden, 1993)

⇒一般目的政府の公共図書館は、職員の配置転換を実施する時もその政府の人事部や委員会の承認を待たなければならず、時間と費用がかかる。しかしながら、図書館区であればそうした遅れは発生しない

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.2.2 裁量ある経営

肯定的な見解

図書館区が独立した地方政府として広範な権限を有していること

(Crismond, 1993; Madden, 1993; Ruhnke, 1994; Lietzau, 2003)

⇒**図書館区は、自らの裁量で職員を採用するプロセスを合理化**することができ、予算の大部分を占める人件費に対する無駄な支出を省くことができる

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.2.3 一般目的政府からの独立

肯定的な見解

財務政策上の独立性を有する

(Crismond, 1993; Madden, 1993;
Brawner, 1993; O'Connor, 2004;
Harris et al., 2010)

否定的な見解

独立性が高まる図書館区が他の
政府機関及びコミュニティから孤立
した存在になる可能性があること

(Crismond, 1993)

3.2.4 労力の増加

肯定的な見解

肯定的な見解は見られなかった

否定的な見解

図書館区の経営には、一般目的政府の公共図書館に比べ、多くの時間と労働力を費やなければならないこと

⇒職員**の退職制度や福利厚生制度を自ら確立しなければならない** (Crismond, 1993; Madden, 1993; Ruhnke, 1994; Fox, 2000; Brawner, 2002; Harris et al., 2010)

図書館区のような小規模組織にとって、これらを確認することは時間がかかり、またそれを管理するためには多くの労働力が必要とされる

3.2.5 図書館委員会の役割と責任

肯定的な見解

図書館区の図書館委員会は、公共図書館に加えて地方政府の代表者として幅広い役割と責任を有すること

(Ruhnke, 1994; Rackers, 1998; Fox, 2000; Waters, 2003; O'Connor, 2004; Thompson, 2005)

⇒図書館委員会が一般目的政府の委員会と同等の権限を持ち、建物のメンテナンス、人事、サービス、財務などを管理できる

否定的な見解

独立した政府組織の代表者である図書館委員会が適切に事務手続きを行わなかった場合、公共図書館の意思決定が完了しないこと

(Ruhnke, 1994)

3.3 政治的透明性の確保

要素(大分類)	政治的透明性の確保	
要素(小分類)	直接的な説明責任	住民投票の権利
Eisner(1991)		
Crismond(1993)		✓
Madden(1993)	✓	
Brawner(1993)		
Ruhnke(1994)		
Rackers(1998)		
Fox(2000)		
Berry(2002)		
Hennen(2002)		
Brawner(2002)		
Andersen(2003)	✓	
Lietzau(2003)		
Waters(2003)		
O'Connor(2004)	✓	
Thompson(2005)		
French(2008)		
Berry(2009)		
Harris et al.(2010)		✓
Elliott(2013)		
Ebdon et al.(2018)		
Goldman(2018)		

図書館区の制度上、住民投票を基軸とした意思決定が実施されるため、政治的透明性が高い経営モデルとして評価される

一般的な説明または肯定的な見解	✓
懸念または否定的な見解	☑

3.3.1 直接的な説明責任

肯定的な見解

多くの州では、図書館区は、その予算や図書館委員会メンバーが住民投票を通して承認されることから住民に対して、より直接的に説明責任を果たしている

(Madden, 1993; Andersen, 2003; O'Connor, 2004;)

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.3.2 住民投票の権利

肯定的な見解

図書館区は、自らの権限で増税や起債が必要な際に、住民投票を実施できること

(Crismond, 1993; Harris et al., 2010)

⇒この住民投票を通じた経営の意思決定という制度がもたらす利点として、**図書館区と住民との信頼関係が継続することが促されることに加えて、図書館区が提供するサービスを住民が検証することに繋がる**

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.4 地理的境界

要素(大分類)	地理的境界	
要素(小分類)	非サービス提供地域へのサービス提供	地理的境界の柔軟な設定
Eisner(1991)	✓	
Crismond(1993)		
Madden(1993)	✓	
Brawner(1993)		
Ruhnke(1994)	✓	
Rackers(1998)		
Fox(2000)		
Berry(2002)		
Hennen(2002)		
Brawner(2002)		
Andersen(2003)		
Lietzau(2003)		
Waters(2003)		
O'Connor(2004)		✓
Thompson(2005)		✓
French(2008)		
Berry(2009)		✓
Harris et al.(2010)	✓	
Elliott(2013)		
Ebdon et al.(2018)		
Goldman(2018)		

図書館区が課税及びサービス提供地域を柔軟に設定できることが評価される

一般的な説明または肯定的な見解	✓
懸念または否定的な見解	☑

3.4.1 非サービス提供地域へのサービス提供

肯定的な見解

図書館区が一般目的政府の境界に捉われずにサービス提供地域を拡大することが可能

(Eisner, 1991; Madden, 1993; Ruhnke, 1994; Harris et al., 2010)

⇒非サービス提供地域に住む人々に対してサービスを提供できる

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.4.2 地理的境界の柔軟な設定

肯定的な見解

図書館区は、一般目的政府の公共図書館と異なり、柔軟に課税及びサービス対象地域を設定できる
(O'Connor, 2004; Thompson, 2005; Berry, 2009)

⇒地域の人口分布や地理的特徴に合わせて最適な範囲にサービスを提供することが可能である

否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

3.5 図書館サービス

要素(大分類)	図書館サービス	
要素(小分類)	サービスの 特徴	住民による 図書館利 用頻度
Eisner(1991)		
Crismond(1993)	✓	
Madden(1993)		
Brawner(1993)		
Ruhnke(1994)		
Rackers(1998)		
Fox(2000)		
Berry(2002)		
Hennen(2002)		
Brawner(2002)	✓	
Andersen(2003)		
Lietzau(2003)	✓	
Waters(2003)	✓	
O'Connor(2004)		
Thompson(2005)		
French(2008)	✓	✓
Berry(2009)	☑	
Harris et al.(2010)		
Elliott(2013)		
Ebdon et al.(2018)		
Goldman(2018)		

財源が安定する図書館区
のサービスはより質の高い
ものになると指摘されてき
たものの、近年の研究では
効率的にサービスが提供
できていないとの結果も示
される

一般的な説明または肯定的な見解	✓
懸念または否定的な見解	☑

3.5.1 サービスの特徴

肯定的な見解

財源が安定し、自らの裁量で資源を配分できる図書館区は、利用者にとってより便益の高いサービスを提供できる経営モデルとされる

(Crismond, 1993; Brawner, 2002; Lietzau, 2003; Waters, 2003; French, 2008)

否定的な見解

図書館区は、図書館区ではない公共図書館に比べ、収入額は大きいものの効率的にはサービスが提供できていないとの結果も示される

(Berry, 2009)

3.5.2 住民による図書館利用頻度

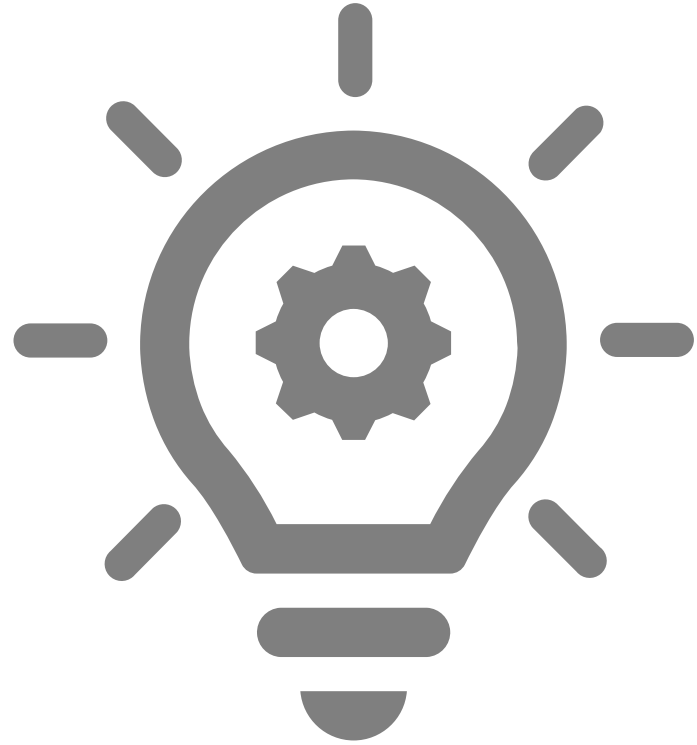
肯定的な見解

図書館区に経営される公共図書館は、図書館区ではない公共図書館と比較するとより多くの住民が利用している (French, 2008)

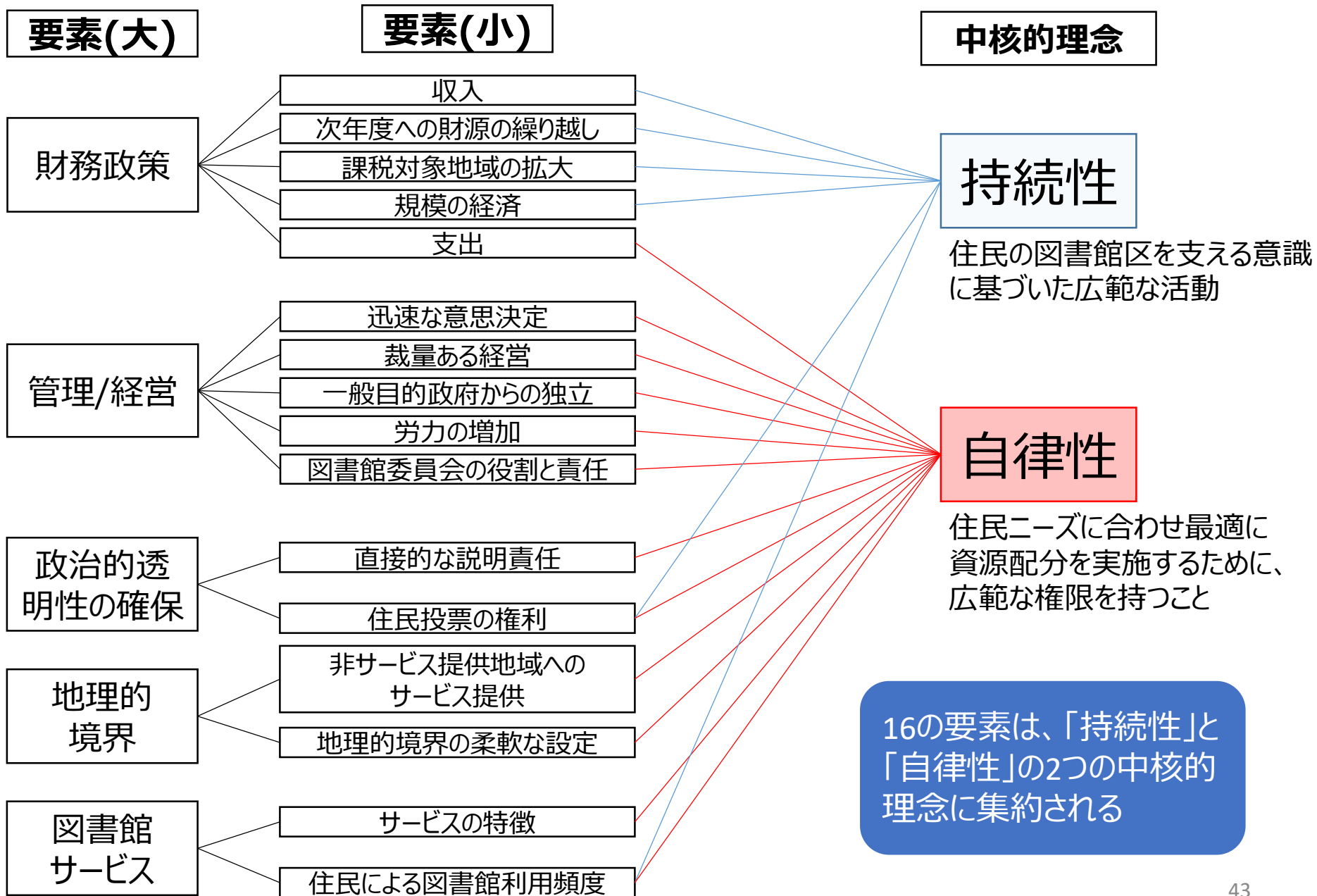
否定的な見解

否定的な見解は見られなかった

4. 結論



4.1 図書館区経営の中核的理念



4.2 持続性

定義

「図書館区の財源の安定性に加えて、税負担等、
住民の図書館区を支えるという意識に基づいた広範な活動」

「持続性」を構成する具体的な要素

収入

課税対象地域の
拡大

住民投票の権利

住民による図書館
利用頻度

近年の研究における図書館区の「持続性」については専ら財源の安定性を中心に論じられている。しかしながら、図書館区の要素を包括的に整理・分析した結果、図書館区は、経営の意思決定における透明性が高いため、住民との継続的な信頼関係が構築できることなど「持続性」に関わる幅広い要素が浮かび上がった。

4.3 自律性

定義

「図書館区が図書館経営において住民ニーズに合わせ最適に資源配分を実施するために、独立した地方政府として広範な権限を持つこと」

「自律性」を構成する具体的な要素

迅速な意思決定

直接的な
説明責任

地理的境界の
柔軟な設定

サービスの特徴

これまで「自律性」については、「持続性」と一体に論じられてきた。しかしながら、近年の研究では、収入を中心とした「持続性」に焦点が当てられ、「自律性」に関する実証的な研究成果が僅かであることがわかった。

5. 今後の課題



研究プロジェクト全体の目的

図書館区の設立経緯と経営の実態を明らかにする

目的	課題	方法
第1部・図書館区経営の理念: これまでの学術上における図書館区に関する理論を包括的に明らかにする。	図書館区研究の中では、これまでどのようなことが論じられてきたのか。	包括的な文献レビュー
第2部・図書館区設立の認可と政策形成過程: 第1の目的で明らかになった学術上の論点を軸に、州政府による図書館区設立の認可までの政策形成過程を明らかにする。	図書館区は、どのような制度的・理論的枠組みに基づき州政府によって設立が認可されたのか。	州政府及び州立図書館所蔵の政策文書を対象とした文献調査
第3部・図書館区の実態: 第2の目的で明らかになった政策形成過程で目指された図書館区の在り方について、実際の図書館区の設立経緯と経営メカニズムを分析し、その実態を明らかにする。	制度的・理論的枠組みにおける図書館区の在り方が、実態としてはどのように反映されているのか。	組織内部の意思決定過程が分かる内部資料を含む広範な文献調査、半構造化インタビュー、メールを介したインタビュー

図書館区経営の実態を解明する上での分析視角

税負担という形で現れる住民
の図書館区への信頼

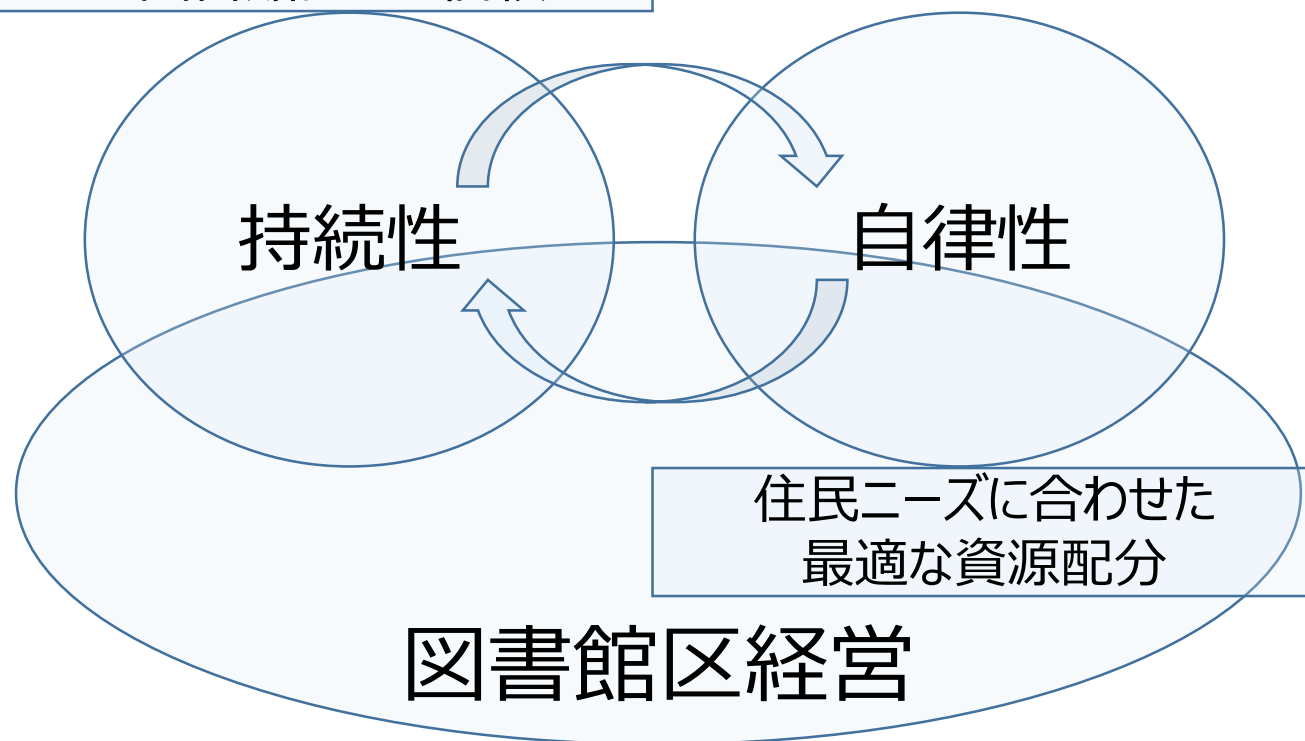


図1 図書館区経営における「持続性」と「自律性」の相互作用

「持続性」と「自律性」を相互作用として捉える

⇒ 図書館区の「自律的な経営」を事例分析などを通して、
実証的に解明する

謝辞

本研究は、日本図書館情報学会の2019年度研究助成を受けたものである。

引用文献①

- Andersen, Deborah L. "Selling a Public Good: The Case of Rechartering Public Libraries by Referendum in New York State," *Public Library Quarterly*. Vol.22, No.4, 2003, p.5-23.
- Berry, Christopher R. "Specialization and Quality," *Imperfect Union: Representation and Taxation in Multilevel Governments*. New York, Cambridge University Press, 2009, p.129-147.
- Berry, John N, III. "More Successful than Begging," *Library Journal*. Vol.127, No.11, 2002, p.8.
- Bourdeaux, Carolyn. "A Question of Genesis: An Analysis of the Determinants of Public Authorities," *Journal of Public Administration Research and Theory*. Vol.15, No.3, 2005, p.441-462.
- Brawner, Lee B. "The People's Choice: Public Library Districts," *Library Journal*. Vol.118, No.1, 1993, p.59-62.
- Brawner, Lee B. "For Library Districts," *Library Journal*. Vol. 127, No.15, 2002, p.10.
- Crismond, Linda F. "Financial Structure and Funding Sources," *Against All Odds: Case Studies on Library Financial Management*. Fort Atkinson, High-smith, 1993, p.4-5.
- Ebdon, Carol; Park, Ji H; Franklin, Aimee L.; and Moore, Jonathan. "Institutional Arrangements for Public Library Funding and Spending," *The American Review of Public Administration*. 2018, p.1-13.
- Eisner, Joseph. "Why Public Library Districts?," *The Bookmark*. Winter, 1991, p.132-134.
- Elliott, Mara. "Impact of the Public Library District Model on Local Funding of Public Libraries in New York State," *Public Library Quarterly*. Vol.32, No.2, 2013, p.124-137.
- Fox, Beth W. "Public Library Districts: And Now We Are 9!," *Texas Library Journal*. Vol.76, No.2, 2000, p.66-68.
- French, Jennifer. "Colorado Library Districts Show Greater Increases in Use & Financial Support than Other Public Library Types," *Fast Facts*. Colorado State Library. ED3/110.10/No. 260, 2008.
- Goldman, Matthew. "Strategies for Sustainable Funding: A Metadata Review of the Independent Library District Model," *Public Library Quarterly*. Vol.37, No.2, 2018, p.139-149.

引用文献②

- Harris, Bob; Ruhnke, Charm; and Medal, Carole. "Library Districts: The Good, The Bad, The Beautiful, and The Ugly," *ILA Reporter*. 2010, p.14-19.
- Hennen, Thomas J., Jr. "Are Wider Library Units Wiser?," *American Libraries*. Vol.33, No.6, 2002, p.65-70.
- Lietzau, Zeth. "Colorado Library Districts Thrive While Other Library Types Face Big Cuts," *Fast Facts*. Colorado State Library. ED3/110.10/No. 193, 2003.
- Madden, Michael. "Independent Library District," In Robbins, Jane B.; and Zweizig, Douglas L. *Balancing the Books: Financing American Public Library Service*. Fort Atkinson, Highsmith, 1993, p.128-131.
- Mullin, Megan. *Governing the Tap: Special District Governance and the New Local Politics of Water*. Cambridge, MA, MIT Press, 2009, 266p.
- New York State Library. "Why Consider Public Library Districts?," <http://www.nysl.nysed.gov/libdev/libs/pldtools/guide/2why.htm> (accessed 2020-08-21).
- O'Connor, Diana. "Public Library Districts and Texas: A Case Study," *Public Libraries*. Vol.43, No.5, 2004, p.275-279.
- Rackers, Christopher P. "Responsibilities of Public Library District Trustees," *Missouri Library World*. Vol.3, No.4, 1998, p.25-26.
- Ruhnke, Charm. "What is a Public Library District?," *Illinois Libraries*. Fall, 1994, p.222-227.
- Schepke, Jim. "The Governance of Public Libraries: Findings of the PLA Governance of Public Libraries Committee," *Public Libraries*. Vol.30, No.5, 1991, p.288-294.
- Thompson, Greta. "Public Library Districts: An Alternative for Wisconsin?," *Newsletter for Public Library Trustees*. Winter, 2005, p.1-4.
- Waters, Richard L. "An Interview with Lee B. Brawner," *Public Library Quarterly*. Vol.22, No.1, 2003, p.11-24.

米国における特別目的政府による 公共図書館経営の理論的基盤

鈴木一生(筑波大学大学院)

小泉公乃(筑波大学)

日本図書館情報学会 第68回研究大会

2020年10月3日(土) オンライン